



②購入した小売業者が、すでに廃業している、遠方にある、不明であるなどで、業者を利用できない場合は、事前に郵便局で家電リサイクル料金の支払いをお願いします。

リサイクル券を購入し、町環境保全課に粗大ごみ回収依頼の連絡をお願いします。後日、回収業者から打ち合わせのための連絡があります。

※ごみステッカーの購入が必要です。

①製品を買い換え、購入した家電小売店に引き取りをお願いします。

※リサイクル料金、収集運搬料金が必要。

●家電4品目の処分方法

エアコン、テレビ(ブラウン管、液晶・プラズマ式)、冷蔵庫(冷凍庫を含む)、洗濯機(衣類乾燥機を含む)の家電4品目は、次のどちらかの方法で処分をお願いします。

地下水保全設備設置補助

種別	補助対象条件	補助額	申請要件
雨水浸透ます	・排水量の多い雨樋から接続すること ・浸透ますには、雨水以外のものを流入させないこと	・1基あたり10,000円 最大4基まで	・町内に住民登録があり、その住所地に居住する住宅等に設置すること ・補助対象機器は未使用品であること ・設置前に申請すること(事前予約制で、設置工事中や設置後の申請は受け付けません)
雨水貯留タンク	・有効貯水量が50リットル以上 ・5年以上耐えられる構造、材質であること ・散水などを行うための機能があること	・貯留容量200リットル以上1基あたり上限35,000円  ・貯留容量200リットル未満設置費用の1/2上限24,000円	

省エネ設備設置補助

種別	補助対象条件	補助額	申請要件
蓄電池	・太陽光発電した電気を貯め、夜間や災害時などに使用可能 ・国が指定する定置用リチウムイオン蓄電池を使用 ・太陽光発電システムを設置していること	1システム 50,000円 (太陽光発電システム、HEMSシステムの同時設置時は上乗せあり)	・町内に住民登録があり、その住所地に居住する住宅に新たな省エネ機器を設置すること(新築などにより転居または転入の場合は、省エネ機器設置後の実績報告書提出時に住民登録があり居住していること) ・設置工事の着工前に申請すること(事前予約制) ・太陽光発電システムのみを設置の場合は補助を行いません。 ・国の定める基準については問い合わせください。
燃料電池給湯システム(エネファーム)	・国が実施する補助金(家庭用燃料電池システム導入支援事業)に指定されたもの	1システム 50,000円	
ガス発電給湯システム(エコウィル)	・ガスエンジンで発電し、発電時の排熱を給湯に利用するもの ・国が定める基準を満たす	1システム 50,000円	
薪ストーブ	・薪を燃料とし、二次燃焼機能を有するストーブ。	1基 50,000円	
ペレットストーブ	・ペレットを燃料とするストーブ。	1基 50,000円	

●地下水保全設備設置補助

町では、生活用水をほぼ地下水に依存しています。そこで、地下水涵養と節水のため、地下水保全設備の設置補助を行います。

●省エネ設備設置補助

町では、地球温暖化対策、省エネ推進や、災害時の電力などの確保のため、省エネ機器の設置補助を行います。

●受付期限 予算に達し次第終了(先着順)  
●申請方法 設置着工前、設置完了後の2回申請。

American Post アメリカンポスト  
CIR (国際交流員): マシュー・サイバート

SPRING CLEANING!!

4月になりました。春が来るとアメリカの人たちはそれを新しい始まりとイメージします。暗い冬が終わり、草木が芽吹き咲き始めるとピクニックや、花見などのチャンスです! 春らしいにおいもして、よろこびにあふれています。

日本でも、春は過去を思い返したりする季節のようですね。学校や会社も節目を迎えて、みんな一緒にリスタートします。日本もアメリカもあまり変わりませんね。

春の伝統として日本とアメリカの違いを挙げるとすれば「spring cleaning」です。

自分にとって余計なもの、必要ないものを全部捨ててしまいます。家中の窓を開けて、家具のほこりをきれいにし、ベッドのシーツを取り替えてしまいます。

「こんな時間のかかることは1年間のうちで1回しかできない」というくらいに家中をきれいにし

てしまいます。「なぜ『spring cleaning』なんでしょう?」その疑問に答えます。答えは簡単。誰が冬の寒い中、家中の窓を開けたいんですか?



大濠公園の日本庭園で

わたしたち 大津町地域おこし協力隊 です

町で活躍する大津町地域おこし協力隊の活動をお知らせします。今月は高橋正親さん(上写真⑥)。

みなさん、こんにちは。近頃、暖かくなり日々過ごしやすくなりましたね。先月までの活動報告と今後の活動について報告します。

1月21日に大津町出初式会場で「おおづ日曜日(朝市)」を開催し、沢山の来場がありました。また、翌週の28日に合志市のユーパレス弁天にて町特産品の「からいもPR・焼いも販売」を行い、大きな反響がありました。町のPRに貢献できたと感じています。

2月16日~18日開催の全日本大学サッカー大会に昼食の部門で参加し、全国各地から参加の大学生に町の「食」を堪能してもらいました。また、3月15日には県主催の「くまもと観光素材説明会・相談会」に参加し、関西から観光客を呼び込む旅行会社に対して、町のPR、誘致説明、特産品PRを行いました。その結果、「大津つつじ祭」と「からいもフェスティバル」のツアーバスの商談が成立し、今からとても楽しみです。

最後に、私は今月、地域おこし協力隊の任期が満了になります。これまで、隊員として肥後おおづ観光協会運営に携わってきましたが、来月から同協会の事務局長として務めます。活動内容は変わりませんので、これからも大津町の観光にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



出初式会場での「おおづ日曜日」